

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和（ 元 ）年度 アクションカメラを使用した中学校通常学級での板書記録（個別での活用）
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 ■その他（全般）
	単元・題材名	
	授業の目標	授業全般において板書を記録することができるようになる。
	学力の3要素	<input type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 ■「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	■通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 ■中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない ( 2 )年 ( 1 )人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 ■LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと ■書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 ・文字を書くことが苦手で、板書を写すことの負担が大きい。 ・学校で頑張りすぎてしまい、家に帰ると何もできなくなってしまう。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援( <input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(■C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援( <input type="checkbox"/> D1実態把握支援) ・負担の大きい「書くこと」について代替手段を取ることで、授業の内容理解に集中することができる。 ・本人が学級で使用しやすい支援機器を検討することにより、主体的に支援機器等教材を学校で活用することができる。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	・アクションカメラ (CASIO EX-FR10) 小型のレンズ部分と画面部分に分けて使用することができる。 撮った写真をアプリを通じてタブレット端末で共有することができる。 
授業展開	授業展開・支援の手立て	・通常の授業において、板書を書ききることができない、板書を書き写すことが負担だと感じた際に、対象生徒がアクションカメラを操作して、ノートに書き写す代わりに板書の写真を撮り、記録をとる。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	・タブレット端末やデジタルカメラなど複数の選択肢の中から、本人が使用しやすい支援機器を検討したことにより、授業中に自主的に使おうとする態度がより見られるようになった。 ・授業中に過度な負担がかかることがなくなり、教師の説明に、より集中することができるようになった。